

次期計画の方向性・重点施策テーマ検討

一般廃棄物処理基本計画改定
第3回専門部会
平成27年5月25日
資料1

第4次神戸市一般廃棄物処理基本計画の進捗・評価

現状

ごみ量

市民・事業者意識
(アンケート等)

課題

市民・事業者の理解・協力の下、循環型社会の実現に向けて、収集区分の見直し、指定袋制度の導入などさまざまな減量・資源化施策および継続的な排出指導・啓発の実施

1 ごみの減量化はおおむね順調

ごみ発生量は最終年度目標を達成 目標:32年度までに652千トン
実績:25年度実績 643千トン

1人1日あたり排出量は政令市平均並み 政令市平均:1,009g(24年度)
神戸市 :1,026g(24年度)

2 資源化は十分とは言えない

資源化できるものの適正分別
(紙・容プラ・缶・びん・ペットボトルなど)

1 収集区分、収集回収などは高い満足度。安定的・継続的な取組が必要

2 世代・事業所規模によりごみ問題への関心度、理解度、実践度は差がある

着実な成果が出ている中、次の時代に向けて、さらなる減量・資源化、市民・事業者の状況に応じた対応など継続的な取り組みが必要

1 さらなる減量・資源化に向けた品目別の取り組み

2 世代・事業所規模等に応じたルール啓発

3 今後も継続的に市民理解・協力を得るための情報周知等の充実

4 社会情勢に対応した収集、災害時等にも安定的処理できるシステム構築

現状、市民・事業者意識、課題を踏まえた施策のポイント・重点施策テーマ

施策のポイント
(案)

次の世代へつなぐ ～循環型社会の実現に向けた安定性・継続性の確保～

市民・事業者の理解・協力

安定的・効率的収集・処理

減量傾向を維持させる
目標設定

- ◎市民・事業者理解を深めるための情報発信
- ◎世代、事業所規模に応じたルール啓発
- ◎若年世代の関心度・実践度を高める
- ◎天然資源、エネルギーの消費をできるだけ抑える(2Rの推進)
- ◎さらなる減量・資源化に向けた品目別取り組み
- ◎高齢化への対応
- ◎経済的誘導施策等新たな施策の検討
- ◎効率的・安定的な適正処理、収集運搬体制

重点施策
テーマ(案)

(1) 家庭系ごみ関連施策

- 2R(リデュース・リユース)の推進
(生産者、販売者、消費者の主体的な取り組み、古着・古布など)
- 情報提供・啓発の推進とリサイクルの徹底
(ルール啓発・制度周知、容プラ、古紙、小型家電など)
- 高齢化対応(ごみ出し支援など)

↑第3回専門部会で議論

- 経済的誘導策等新たな施策の研究(家庭系有料化など)

↓第4回専門部会で議論

(2) 事業系ごみ関連施策

- 中小規模事業所への排出ルール、リサイクル情報(業種別分別マニュアル)等周知
- 経済的誘導策等新たな施策の研究(処理施設への搬入手数料、事業系有料袋など)

(3) 処理システム関連施策

- 処理体制(3クリーンセンター体制での安定処理・災害対応)
- 水銀等有害廃棄物への対応等適正処理